



# 高崎中学校だより

生徒が生き生きと活躍する「生徒が主役の高中」



## 3学期がスタートして1か月

3学期がスタートして1か月が経ちました。3年生は、私立高校入試も終わり、2月7日(水)には「県立高校推薦受検」があります。入試に向けて今年度も「学校運営協議会委員」や地域の方々のご協力をいただき、面接練習を実施しました。また、2年生は立志式に向けて、文集や発表の準備を進めています。1年生は職業調べを行い、2月22日(木)の参観日で発表する予定です。



## 「来客用」駐車場案内看板・「徐行」看板設置

1月22日(月)に学校分収林積立基金を活用して、来客駐車場案内看板、徐行看板を設置しました。来客駐車場が分かりづらい現状や校内の安全確保を目的としたものです。来校された際は、是非看板をご覧いただき、校内の徐行にご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 教頭の霧島日記

木こりのジレンマ

早いもので、令和5年度も残り2か月あまりです。「時が経つのは早いね。」と2年生と会話したらその生徒が「先生、高校受験したくないです。3年生になりたくないです。」と言いました。

いよいよ自分たちが受験生という不安が、この言葉となってでたようです。中学年代は2年生と3年生では成長速度が違うと言われます。3年生の成長が早いのは、将来への不安と闘いながら、自分自身の力で未来を切り拓こうとするからではないでしょうか。

ところで、昨年の研修で「木こりのジレンマ」という話を聞きました。その話の内容は以下の通りです。

ある木こりが、がんばって木を切っている。通りがかった旅人がその様子を眺めていたが、斧を振るう勢いのわりに、なかなか木が切れていない。見ると木こりの使っている斧が刃こぼれしているようなので、旅人は言った。

「斧を研いだほうがいいのでは？」すると、木こりは言った。「わかっちゃいるんだけどね、木を切るのに忙しくて、それどころじゃないよ」

この話は、業務の効率化のたとえとして使われるそうです。どの職種であろうと時代と共に様々な変容があります。それに対応するために組織として個人として効率化や自己研鑽に励みます。

生涯学習という言葉がありますが、私たちは、生涯を通じて学び続けます。

将来、「切れない斧」を振り回す人生ではなく、自分自身をしっかりと「磨き」、自己研鑽に励んでほしいものです。

保護者の皆様もそれぞれの職場で効率化を図り、自己研鑽されていることと思います。ご自身の経験を話し、「学ぶ」ことの意義を話されてみてはいかがでしょうか。

## お知らせ

2月22日(木)立志式と参観日の案内文書を配付しました。2月9日までに出席の有無についてご提出をお願い申し上げます。